



平成24年度
学校経営書

校訓 勤勉・誠実・勇気



静岡県伊豆市立湯ヶ島小学校

〒410-3206 静岡県伊豆市湯ヶ島136番地

TEL (0558) 85-0036

FAX (0558) 85-0099

mail ay-es@school.city.izu.shizuoka.jp

東経 138度56分 北緯 34度53分 標高 218m

校歌

一 天城ねは われらの父
狩野川は われらの母
この山の 強さ けだかさ
この川の 清さ やさしさ
心とせまし
いざわれら湯ヶ島の子

二 その肌に 温泉かおり
その眼 清水と澄む
峰の風 髪くしけずり
谷の雪 ひたいをひやす
天地の子ら
われらいざのびん強く

三 おおきみの みゆきあおぎ
いよいよに 光増しし
天城路の このよき空の
飾なき 大きやすけさ
心とせまし
いざわれら湯ヶ島の子

1 学校の沿革

- 明治6年5月 狩野小学校の分校を湯ヶ島弘道寺に置き「導蒙舎」と称える。
7年5月 分校独立して狩野上小学校（狩野上舎）と称える。
9年4月 静岡県管内に入り、田方郡湯ヶ島村第70番小学校と称え、分校を門野原と矢熊におく。
12年10月 従前の学校名を廃して、湯ヶ島村天城学校と呼び、分校は門野原村嶺北学校と呼ぶ。
14年5月 嶺北学校独立し、当校は公立天城学校と改称して嶺北学校は再び分校となる。
25年4月 小学校令施行に伴い、上狩野村立湯ヶ島尋常小学校と改称、嶺北分校は独立して月ヶ瀬小学校と呼ぶ。
30年11月 高等科併地（二年制）上狩野村湯ヶ島尋常高等小学校と改称
32年5月 校地移転、湯ヶ島字尻戸201番地の地に校舎新築
36年5月 高等科修業年限延長（4年）、校舎増築および校地拡張
41年4月 小学校令改正され、尋常科6年・高等科2年となる。
大正7年 校舎増改築（校舎その他1,105.5㎡）
昭和4年8月 校地移転、湯ヶ島久保田136番地（現在地）二階建一棟新築
5年6月 天皇陛下行幸
11年9月 講堂新築（足立顕治氏寄贈）
15年10月 プール建設（25m×9.5m）
16年4月 国民学校令施行、田方郡上狩野村立湯ヶ島国民学校と改称
22年4月 学制改革、田方郡上狩野村立湯ヶ島小学校と改称
35年11月 町村合併により天城湯ヶ島町立湯ヶ島小学校と改称
39年2月 鉄筋三階建校舎（第一期工事）及び給食センター新築
39年4月 持越小学校を統一
42年 プール改装、低学年用プール新設
45年3月 鉄筋三階建校舎を旧館に延長して新築（第二期工事）
46年3月 運動場拡張整備
47年3月 国旗掲揚塔・VTR一式・小鳥小屋等設置（PTA事業）
50年2月 講堂を撤去 体育館建設817.62㎡
52年2月 交通公園完成
56年3月 井上靖先生詩碑除幕
60年8月 校舎耐震補強工事施工
61年4月 緑の少年団結成
平成元年8月 家庭科室改修
2年8月 運動場散水装置設置（3基）
3年6月 優勝旗新調（足立顕氏寄贈）
5年8月 屋上防水工事（西側）・高架水槽取替・南側ベランダ手摺塗装
8年3月 プール塗装
9年8月 校舎外壁塗装
10年 ブロンズ像「しろばんば」除幕式、エアコン設置
12年 体育館床補修、変電室設置、体育館防水工事
13年12月 照明器具取り替え(PCB関係)
プール周辺整備、屋上防水工事、中庭舗装工事
16年3月 伊豆市内光ネットワーク化
〃年4月 4町合併により静岡県伊豆市立湯ヶ島小学校と改称
18年11月 体育館耐震工事
19年12月 緊急放送設備改修
20年8月 理科室改修
21年 3階男女トイレ改修、職員トイレ改修
22年8月 屋上防水、はしご取り付け工事

2 経営の基盤

(1) 学区の概要

学区の歴史は古く、明治6年創立。本年で139年目を迎える。二度にわたる校地移転、昭和5年天皇陛下の行幸。昭和35年に町村合併で天城湯ヶ島町立湯ヶ島小学校と改称。39年には持越小学校が統合される。さらに平成16年4月の4町（天城湯ヶ島・中伊豆・修P寺・土肥）の合併により伊豆市立湯ヶ島小学校と改称。作家井上靖先生が1年生から6年生の2月まで学ばれたことから、昭和56年詩碑除幕、平成10年ブロンズ像「しろばんば」の除幕式を行っている。また、校舎内には井上靖資料室を設けており、文学に関心をもつ来客も多い。

学区は天城連山から山裾にわたる広範囲な地域にある。天城山を中心とした林業や持越鉱山は衰微したが、温泉街や商店街は残っており観光関係に従事する人も多い。山葵・椎茸栽培を中心とした農業関係、他地域の会社に勤める等、地域的にも職業的にも多種多様である。自然・風土に恵まれ、また文学的・歴史的遺産も多く、素晴らしい教育的環境にある。行政当局や地域も「人づくり」にはことのほか意を注ぎ、学校を生涯学習の中心に据えている。保護者や地域住民の学校に寄せる関心は高く、伝統ある湯ヶ島小学校に愛着と誇りをもっている。市の学校再編成計画で天城地区3小学校の統合により、平成24年度が最後の年になる予定である。

(2) 学級編成

学年	男	女	合計	P会員数
1年	5	8	13	8
2年	3	4	7	3
3年	10	7	17	12
4年	10	6	16	14
5年	6	9	15	12
6年	8	10	18	18
合計	42	44	86	67

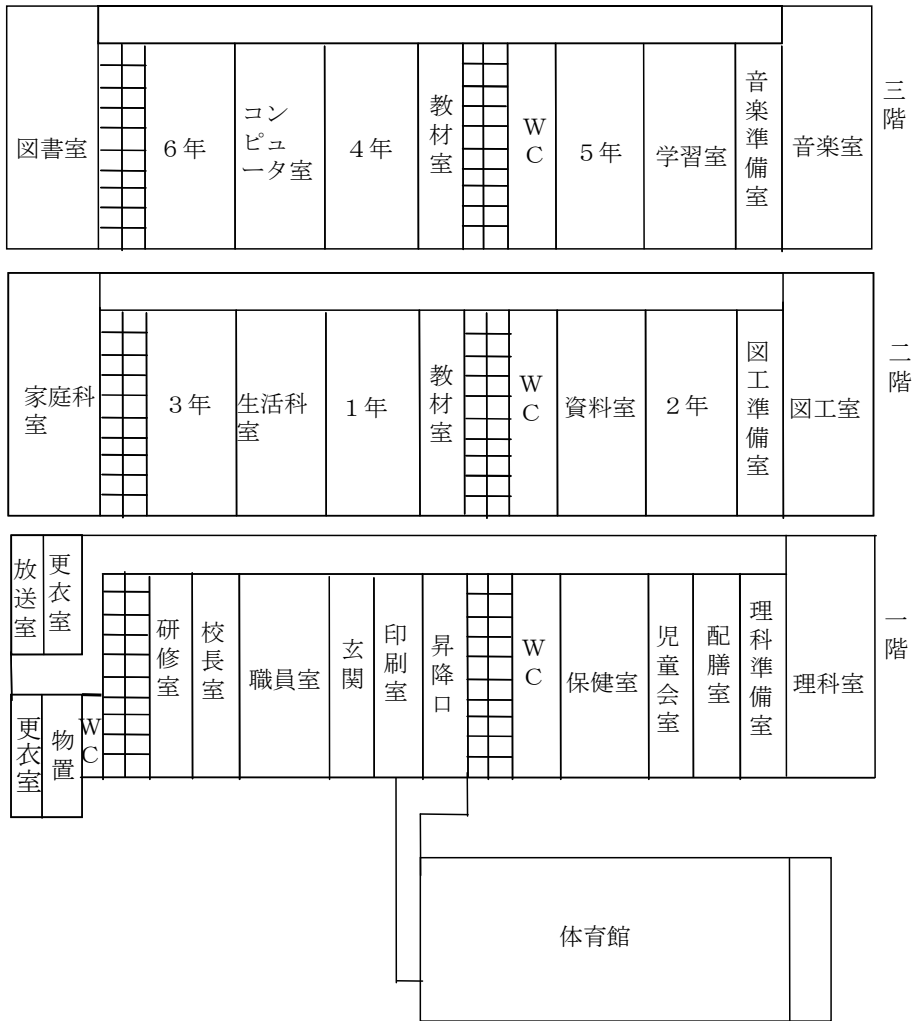
(3) 地区別児童数

地区	児童数	P会員数
茅野	4	2
大滝	11	8
長野	10	8
宿	21	12
金山持越	3	2
西平	16	14
市山	21	21

(4) 教職員一覧

No.	職名	氏名	担任等
1	校長	杉山 宗治	
2	教頭	鈴木 幸宏	
3	教諭	杉村 繁子	1年・図書
4	教諭	亀山 貴洋子	6年・特活主
5	教諭	大川 和昭	4年・生指主
6	教諭	石川 昭博	教務主
7	教諭	植田 款奈	2年・研修主
8	教諭	三枝 文和	5年・体育主
9	養護教諭	小野 美由紀	
10	栄養士	高木 由美子	
11	講師	荻原 真奈美	3年
12	理科講師	富山 正	
13	臨時事務	青木 政子	
14	用務員	山崎 明美	
15	支援員	鈴木 沙織	

(5) 校舎配置図



3 学校経営方針

1 経営方針

- (1) 教職員と児童が信頼関係で結ばれ、一人一人が確かな目標と自分への自信をもつことができる学校づくりに努める。そのために教師は、教育活動全体を通して、目標の確認と目標が行動となり、自信が高まるよう積極的な指導と支援を行う。
- (2) 学びの楽しさに導く教材研究と子どものよさを引き出す児童理解の上に立つたわかる授業を展開することにより、学習意欲の向上と基礎学力の定着を図る。そのために、学び合う学習集団づくりを進め、校内研修の充実(授業改善)と家庭学習の習慣化を図る。また、ウ育活動全体を通じて、言語に関する能力の育成を図る。
- (3) あらゆる教育活動を通して教職員と児童・保護者・地域との信頼関係を構築する。
- (4) 学校・家庭・地域社会と密接な連携を保ち、相互理解と協調を深めるとともに、豊かな心の育成と地域に貢献する開かれた学校づくりを行う。
- (5) リーダー育成。縦割り活動や児童会・委員会活動を通じ、良きリーダーの育成に努める。
- (6) 自分のため、他のためにつくした子を賞揚する場を設けていく。
- (7) 特別支援教育は、特別な子に対する支援のみでなく「個が生きる」ための誰にも必要な指導と支援であるという認識で全教職員が主体的に取り組む。
- (8) 「あすなる学習」のねらいは「湯ヶ島」を学校共通テーマとして、自ら考える力の育成、学び方や調べ方を身に付ける、自己の生き方を考える、ことであることを認識し、計画的・継続的で価値のある内容で活動を展開する。
- (9) 道徳の時間を核として、教育活動全体で道徳教育を行う。特に、規範意識 人権意識、自尊感情を高める項目を重点に据える。
- (10) 図書室の有効的な利用と朝読書・読み聞かせの充実により、子どもたちの読書活動の充実を図る。
- (11) 常に学校教育目標・重点目標を意識し、子どもたちに付けたい力を明確にした教育活動を行う。

2 教育目標と教育重点目標

- ◇校訓(明治28年制定) 「勤勉 誠実 勇気」
- ◇学校教育目標(平成19年度から)「地球上で一番清らかな広場」をめざして
- ◇教育重点目標 「しっかり聞く 正しく話す」
「がんばりを認め合う」
「最後までやりとげる」

3 学校経営目標

(1)めざす学校像「笑顔があふれる学校」

- ①どの子にも居場所と活躍の場がある学校
- ②せいせいと自分の意見を発言でき、共に学び、共に高まる授業が展開される学校
- ③地域に開かれ、信頼される学校

(2)学校力の強化

- ①目標指向型管理システムである教職員評価制度の確かな運用による組織の活性化を図る。
- ②校内研修の充実による学び合う教師集団づくりを行う。
- ③地域人材の活用、授業・学校情報の公開による開かれた学校づくりを推進する。
- ④安心・安全対策を見直し、子どもたちの安心・安全を確保する。
- ⑤校内特別支援委員会を定例化し、特別な配慮が必要な子への対応を学校体制で行う。

(3)めざす子どもの姿

- (知)しっかり聞いて、考えを伝えられる子
- (徳)自分を大切にし、他につくす子
- (体)目標をもって挑戦する子

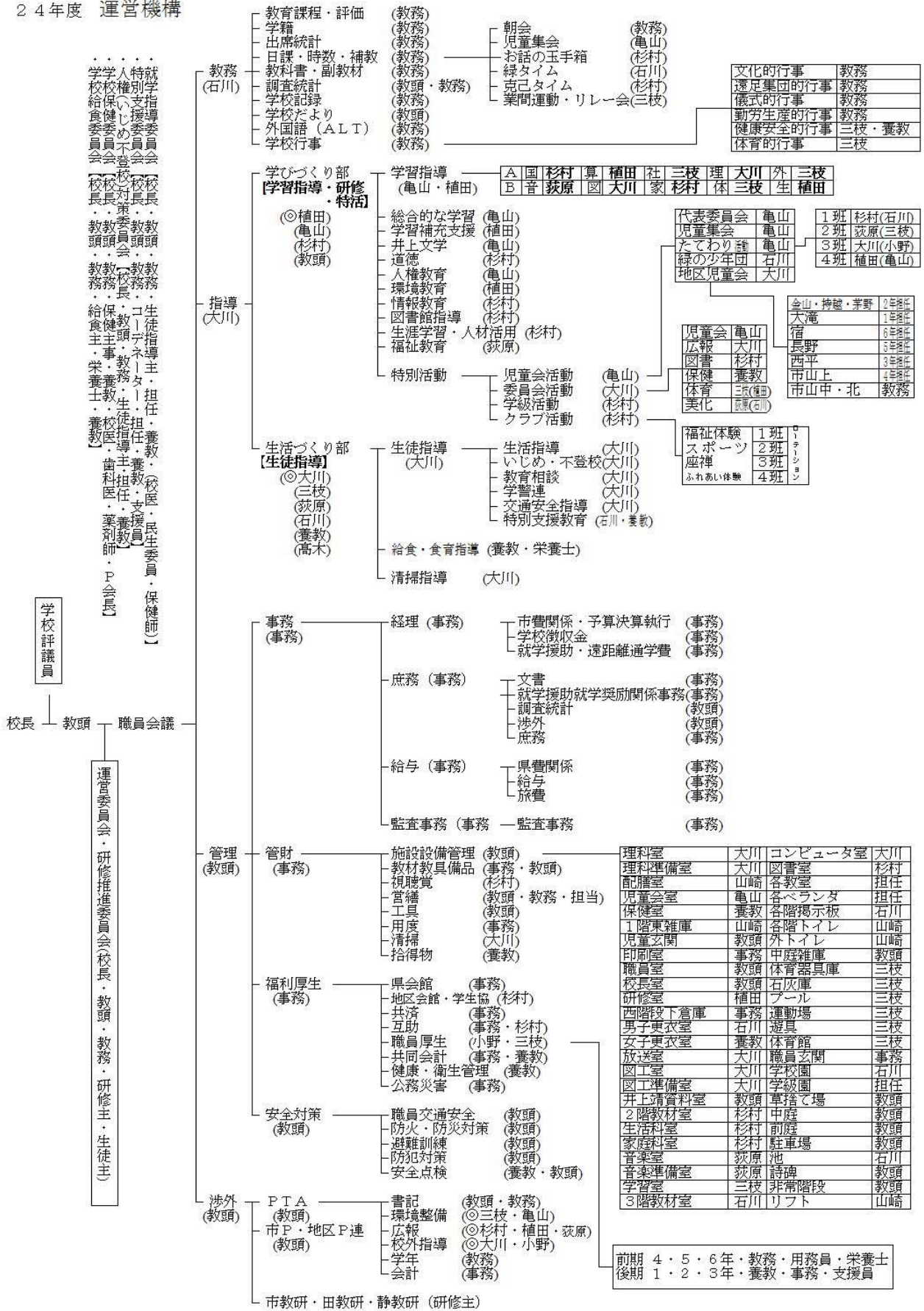
(4)めざす教師像「信頼される先生」

- ①教職への強い情熱と児童への深い愛情のある教師(優しさと厳しさ)
- ②授業で勝負できる教師(研究)
- ③豊かな人間性と社会性に満ちあふれる教師(修養)

(5)教師力の強化

- ①教職員評価制度の確かな運用により、自己目標を達成する中で教師として資質の向上を図る。
- ②自らの授業改善を進め、「笑顔あふれる授業」を実践する。
- ③基礎基本の定着と言語に関する能力を高め、思考力・判断力・表現力等を育成するための授業改善について、実践的に研究する。
- ④個人研究を積み重ね、研修を日常化する。
- ⑤教育センター専門研修、先進校視察などによる職能向上のための校外研修に積極的に参加する。
- ⑥特別支援教育を通して個に応じた指導を全児童にまで広める。

24年度 運営機構



5 教育計画

(1) 年間授業日数

学期	始業日	終業日	授業日数
1	4月 5日(木)	7月27日(金)	78
2	8月31日(金)	12月21日(金)	79
3	1月 7日(月)	3月19日(火)	49
合計			206

(2) 月別・曜日別授業日数

学期	月	授業日数	曜日別日数					休業日数			合計
			月	火	水	木	金	土日	祝日	休業	
1	4	17	3	3	3	4	4	9	1	3	30
	5	21	5	5	5	3	3	8	2	0	31
	6	21	4	4	4	4	5	9	0	0	30
	7	19	3	3	4	4	5	9	1	2	31
	小計	78	15	15	16	15	17	35	4	5	122
2	8	1	0	0	0	0	1	8	0	22	31
	9	20	5	4	3	4	4	9	1	0	30
	10	21	5	5	4	4	3	8	1	1	31
	11	21	4	3	4	5	5	8	1	0	30
	12	16	3	3	3	3	4	8	1	6	31
小計	79	17	15	14	16	17	41	4	29	153	
3	1	17	4	4	3	4	2	8	1	5	31
	2	19	3	4	4	4	4	8	1	0	28
	3	13	3	3	2	2	3	10	1	7	31
	小計	49	10	11	9	10	9	26	3	12	90
合計		206	42	41	39	41	43	102	11	46	365

6 研修構想

研修テーマ

「笑顔があふれる授業」をめざして

①研修テーマ設定の理由

〈昨年度の子どもの実態〉

- ・話すことはできるようになってきた。
- ・聞くことができない。
- ・話し合いが活性化していない。

〈教師の願い〉

- ・昨年度の研修を継続したい。
- ・話し合いで授業を深める研修をしたい。

②手だて（アプローチ）

〈友達の話を中心に聞いてみる〉

- ・友達が話している時は、話している方を向く。
- ・反応しながら聞く。
（うなづく 首をかしげる わからないことはわからないと言う など）
- ・自分の考えがもてるように聞く。

〈自分の思いをのびのびと話す〉

- ・自分の考えがもてるように、書いたり相談したりする。
- ・前の人につなげて話す。
- ・聞いている人にわかりやすく話す。
- ・友達に伝える（訴える）ように話す。

〈興味を引き出す授業導入〉《話し合いが活性化する授業展開》

- ・大胆な教材研究（素材を教材化する研究）
- ・子どもの実態にあった授業構想
- ・授業中に教師の話す時間の短縮化（1時間の授業で10分程度に）
- ・子どもの反応を待つ間（発言の後にすぐ発言ではなく）
- ・教師の出番（効果的で、子どもの変容をうながす出方）
- ・研修テーマにせまるための自己課題の設定

③授業公開（授業を見合うことを研修にする）

- ・中心授業・・・学年団で1回、全員参観、事前事後研修を行う。
 - ・公開授業・・・全員授業公開、付箋紙を利用して事後研を行う。
- ※大橋先生の要請訪問・・・年間2回要請訪問を行う。